

自治協会長会議で整理したコロナ禍における課題について 意見結果

2. 防災強化に向けた、自治協の役割について

★南区自治協議会の方針（案）

⇒防災を所管する第1部会で、次年度の提案事業での実施も含めて、自治協議会として取り組める内容を検討し、全体会に諮る。

(1) 案のとおり	(2) 意見等あり
27	2

(議決における出席委員には、議長を含まない)

●意見等

- ・地震と水害の想定避難訓練を別に考えたらどうか。
 - ①地震時の避難は壊れた家のみ
 - ②水害は広域な地域が対象になる？
- ・今年のように、災害にあっても手助け、援助が必要とされる方々がおられても、他県等からの救済を求める事が出来ない事を踏まえて南区内のボランティア登録で「何が出来るか」例：大工、とび職、介護職を含めた登録を願い、募集できるか提案してみても思っております。
- ・特に防災士の育成に注力してほしい。
- ・南区全体の防災訓練が年に1回実施できる体制づくり。

3. 会議の開催方法、それによる新たな体制・運営の確立について

★南区自治協議会の方針（案）

⇒事務局の一部所属をリモート出席にするなどモデル的に行っている。しばらくこの体制で行ない、課題抽出後、委員の意向を含めて検討をする。また、新型コロナの感染拡大状況によっては、引き続き書面開催を併用して行う。

(1) 案のとおり	(2) 意見等あり
25	4

(議決における出席委員には、議長を含まない)

●意見等

- ・感染拡大時には、引き続き書面開催が良いと思います。
- ・当日の議事・報告等に関連されていない区役所の幹部の方々は会議に出席されずとも良いのではなかったことがあるのですが、というのも意見になりますでしょうか。
- ・委員同士で議論を要するもの以外（報告等）は書面表決が効力的と考えますので、会議開催を弾力的に運用したらいかがでしょうか。文書化の方が正確に真意が伝わ

ります。補足は口頭で。

- ・感染拡大状況によっては
 - ① 2分割会議（リモート出席と対面出席の併用）
 - ②無理と判断したら書面開催
- ・基本的には賛成です。但し、会議時間短縮をより一層図っていただきたい。例えば、質問・意見等は事前に事務局へ送り、改めて書面提示を行うなどの工夫をして会議時間の短縮をお願いしたい。

※1. 自治協議会提案事業のあり方について

令和2年9月29日開催の第6回南区自治協議会において、次の方針（案）のとおり実施することを議決した。

★南区自治協議会の方針（案）

⇒南区まちづくり活動サポート事業の2次募集を図り、令和2年度で事業実施可能な団体を募集する。また、その他の提案事業については、新型コロナに対応して工夫して実施している。